

国土交通省は、被災した自治体等に対して、国土交通省及び関係団体等が有する資機材、ノウハウ等を活用した応援や人的支援をより積極的に推進することとしています。

琵琶湖河川事務所は、災害発生時の危機管理や課題解決にかかる技術力・組織力の向上を図るため、東日本大震災時の事例を題材としたケースメソッドを実施しました。訓練には、災害対策機械の操作等を請け負っている建設業者も参加しました。

当日午前7時から地震を想定した初動対応訓練を実施したこと、及び11月18日が土木の日であることから、請負業者とともに危機管理に関する訓練を行いました。

概要

琵琶湖河川ゼミナール「大規模地震災害を対象としたケースメソッド」

○日 時：平成28年11月18日（金） 14：00～16：30

○場 所：ウォーターステーション琵琶 2階会議室

○参加者：職員16名、請負業者4名



危機管理に関する説明



事例についての意見交換の様子



ケースメソッドについて感想を述べる参加者

「ケースメソッド」について

- ・現実に発生した事例を疑似体験し、参加者各自がその立場にたって判断し、対応方法を検討。その後、グループ内で意見交換し、さまざまな意見を聴き、各自の判断力向上を図ろうとするもの。
- ・今回は、東日本大震災を事例に、下記2事例について班別に検討。
 - ①津波から避難する住民の受け入れ如何について出張所長の立場で判断。
 - ②津波発生後の道路啓開作業の実施について管理者・請負者の立場で判断。

○参加者の感想

（職員）

- ・有事の際を想定した訓練や、普段からの訓練の積み重ねの重要性を認識した。
- ・これまでの訓練は復旧などの効率性を追求したものであるが、今回、判断するということの意味を考えるきっかけとなった。
- ・災害対応の経験がないが、グループの意見交換で体験談を聞くことができてよかった。

（建設業者）

- ・普段から想定しておくことの重要性がわかった。
- ・ケースメソッドは初めて体験したが、地震に備えて今後活かしていきたい。

琵琶湖河川事務所は、災害に対して万全の体制をとるとともに、災害発生時には、自治体支援を積極的に実施してまいります。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課
077-546-0867

